

(5) 付録

1	幹事会、研究会のメンバー移動表	
2	受託業務対応リスト	事務局 G
3	化学工学会発表リスト	
4	公開講座「知の市場」講義リスト	教育 G
5	化学工学入門講座・安全講習会講義リスト	教育 G
6	ケミカルエンジニアリング・カフェ	教育 G
7	「化学装置」PSB 連載投稿リスト	安全研究会
8	他の専門誌投稿リスト（「化学装置」他）	
9	T e c h N o t e 投稿リスト	
10	SCE・Net の窓投稿記録	

付録 5-1a 幹事会役員担当(1)(H22-H26)

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
代表	山岸 千丈	澁谷 徹 ⇒牛山代行	小林 浩之	小林 浩之	川瀬 健雄
副代表	牛山 啓、 持田 典秋、 澁谷 徹	牛山 啓、 持田 典秋	牛山 啓、 山崎 徹	牛山 啓、 山崎 徹	中尾 眞
事務局	牛山 啓、 溝口 忠一、 中村喜久男	牛山 啓、 溝口 忠一	牛山 啓	牛山 啓	牛山 啓
会計	堀中 新一	堀中 新一	神田 稔久	神田 稔久	神田 稔久
安全研	澁谷 徹	澁谷 徹	澁谷 徹	澁谷 徹	澁谷 徹
エネルギー研	田中 貴雄	田中貴雄	田中貴雄	田中貴雄	田中貴雄
神奈川研	—	(持田 典秋)	(持田 典秋)	(持田 典秋)	(持田 典秋)
環境研	郷 茂夫	郷茂夫	郷茂夫	郷茂夫	斎藤 興司
教育研	山崎 徹	山崎 徹	山崎 徹	山崎 徹	
装置材料研	鈴木 紹夫	梅村 文夫	梅村 文夫	梅村 文夫	梅村 文夫
福島問題研	—	—	—	—	(小林 浩之)
教育 G		山崎 徹	山崎 徹、 堀中 新一、 中尾 眞	山崎 徹、 堀中 新一、 中尾 眞	中尾 眞
技術懇談会	高砂 智之	中村喜久男、 小林 浩之	中村喜久男、 松井 達郎	澁谷 徹、 松井 達郎	松井 達郎、 横堀 仁
HP	持田 典秋	(持田 典秋)	長安 敏夫	長安 敏夫	長安 敏夫
交流会	道木 英之	道木 英之	道木 英之	木原 重文	木原 重文
窓		小林 浩之	(持田 典秋)	(持田 典秋)	(持田 典秋)
特任	鬼山 和彦、 小林 浩之	鬼山 和彦	斎藤 興司	鈴木 文行、 鬼山 和彦	戸井田良晴、 鬼山 和彦
世話人			溝口 忠一	溝口 忠一	小林 浩之、 山崎 徹
監査人	斎藤 浩、 宮木 宏尚	斎藤 浩、 持田 典秋	斎藤 浩、 持田 典秋	斎藤 浩、 持田 典秋	斎藤 浩、 持田 典秋
顧問	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈、 溝口 忠一	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈、 溝口 忠一	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈、 溝口 忠一

幹事会役員担当(2)(H27-H31)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
代表	川瀬 健雄	川瀬 健雄	川瀬 健雄	川瀬 健雄	川瀬 健雄
副代表	川瀬 進、 中尾 眞	川瀬 進、 中尾 眞	川瀬 進、 中尾 眞	川瀬 進、 中尾 眞	川瀬 進、 中尾 眞
事務局	牛山 啓	牛山 啓、 猪股 勲	猪股 勲	猪股 勲	猪股 勲、 春山 豊
会計	神田 稔久	神田 稔久	神田 稔久	神田 稔久、 宮本 公明	宮本 公明
安全研	竹内 亨	竹内 亨	竹内 亨	竹内 亨	竹内 亨
エネルギー研	松井 達郎	松井 達郎	松井 達郎	原 晋一	原 晋一
神奈川研	神田 稔久	神田 稔久	神田 稔久	宮本 公明	宮本 公明
環境研	斎藤 興司	斎藤 興司	斎藤 興司	原戸 卓雄	原戸 卓雄
環境経営研	長安 敏夫	長安 敏夫	長安 敏夫		
装置材料研	梅村 文夫	梅村 文夫	梅村 文夫	加藤 敬	加藤 敬
福島問題研	横堀 仁	横堀 仁	横堀 仁	横堀 仁	横堀 仁
教育 Gr	中尾 眞	中尾 眞、 澤 寛	中尾 眞、 澤 寛	中尾 眞、 稲葉 正志	中尾 眞、 紫垣 由城
技術懇談会	三平 忠宏、 河合 治之	三平 忠宏、 河合 治之	河合 治之、 宮本 公明、 山本 一巳	山本 一巳、 飯塚 弘、 稲葉 正志	山本 一巳、 飯塚 弘、 稲葉 正志
H P	長安 敏夫	長安 敏夫	長安 敏夫		
交流会	木原 重文	—	—	—	—
窓		梅村 文夫	横堀 仁	横堀 仁	横堀 仁
学会担当	川瀬 進	川瀬 進、 山本 一巳	川瀬 進、 山本 一巳	川瀬 進、 山本 一巳	川瀬 進、 山本 一巳、 稲葉 正志
特任	原戸 卓雄				
Net 交流会				鶴田 邦弘	鶴田 邦弘
法人幹事	横山 哲夫	横山 哲夫	横山 哲夫	横山 哲夫	横山 哲夫
世話人	山崎 徹			神田 稔久、 松井 達郎	神田 稔久
監査人	山本 一巳、 澁谷 徹	清水 典貞、 澁谷 徹	清水 典貞、 澁谷 徹	清水 典貞、 澁谷 徹	清水 典貞、 澁谷 徹
顧問	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈、 溝口 忠一、 持田 典秋、 小林 浩之	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈、 溝口 忠一、 持田 典秋、 小林 浩之	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈、 溝口 忠一、 持田 典秋、 小林 浩之	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈、 溝口 忠一、 持田 典秋、 小林 浩之	岩村 孝雄、 中島 幹、 日置 敬、 山岸 千丈、 溝口 忠一、 持田 典秋、 小林 浩之

付録 5-1b 研究会メンバー移動表

1) 安全研究会メンバー（敬称略）

年度	人数	担当幹事	研究会メンバー
H 22 年	14	澁谷 徹	日置, 小谷, 山崎（博）, 溝口, 長安, 澁谷, 山岡, 小林, 渡辺, 牛山, 加治, 斎藤, 井内, 中村
H 23 年 H 24 年	13	澁谷 徹	日置, 小谷, 山崎（博）, 長安, 澁谷, 山岡, 小林, 渡辺, 牛山, 加治, 斎藤, 井内, 中村
H 25 年 H 26 年	17	澁谷 徹	日置, 小谷, 山崎博, 長安, 澁谷, 山岡, 小林, 渡辺, 牛山, 加治, 斎藤, 井内, 中村, 平木, 竹内, 三平, 山本
H 27 年 H 28 年	15	竹内 亮	日置, 小谷, 長安, 澁谷, 山岡, 渡辺, 牛山, 斎藤, 井内, 中村, 竹内, 三平, 山本, 澤, 松井
H 29 年 H 30 年	15	竹内 亮	日置, 小谷, 澁谷, 山岡, 牛山, 斎藤, 中村, 竹内, 三平, 山本, 澤, 松井, 飯濱, 金原, 今出
H 31 年 ～	17	竹内 亮	日置, 小谷, 澁谷, 山岡, 牛山, 斎藤, 中村, 竹内, 三平, 山本, 澤, 松井, 飯濱, 金原, 今出, 春山, 塩谷

2) エネルギー研究会（敬称略）

年度	人数	担当幹事	研究会メンバー
H 23 年	5	田中 貴雄	神田, 田中, 伝田, 松井, 溝口
H 24 年	7	田中 貴雄	神田, 田中, 伝田, 松井, 溝口, 王, 戸井田
H 25 年	7	田中 貴雄	神田, 田中, 伝田, 松井, 溝口, 王, 戸井田
H 26 年	8	田中 貴雄	神田, 田中, 伝田, 松井, 溝口, 王, 戸井田, 原戸
H 27 年	7	松井 達郎	田中, 伝田, 松井, 溝口, 王, 原戸, 西村
H 28 年	10	松井 達郎	田中, 伝田, 松井, 溝口, 王, 原戸, 西村, 加藤, 原, 八木
H 29 年	10	松井 達郎	田中, 伝田, 松井, 溝口, 王, 原戸, 西村, 加藤, 原, 八木
H 30 年	10	原 晋一	田中, 伝田, 松井, 王, 西村, 加藤, 原, 八木, 松宮, 山田
H 31 年	13	原 晋一	田中, 伝田, 松井, 王, 西村, 加藤, 原, 八木, 松宮, 山田, 岩山, 小宮山, 紫垣, 古川,

3) 神奈川研究会 (敬称略)

年度	人数	担当幹事	研究会メンバー
H 23 年～	6	持田 典秋	岩村 神田 松村 持田 山崎博 弓削
H26 年	6	神田 稔久	岩村 神田 松村 持田 山崎博 弓削
H 27 年	8	神田 稔久	岩村 神田 小林 西村 松村 持田 山崎博 弓削
H 28 年	11	神田 稔久	猪股 岩村 神田 小林 西村 松井悦 松村 宮本 持田 山崎博 弓削
H 29 年	11	神田 稔久	猪股 岩村 大谷 神田 小林 坂下 西村 松村 宮 本 持田 山崎博
H 30 年	12	神田 稔久	飯塚 猪股 岩村 大谷 神田 小林 坂下 西村 松 村 宮本 持田 山崎博
H 31 年	12	宮本 公明	飯塚 猪股 岩村 大谷 神田 小林 坂下 西村 松 村 宮本 持田 山崎博

4) 環境研究会 (環境研) , 環境経営研究会 (環経研)

年度	人数	担当幹事	研究会メンバー
H 21 年	4	松村 眞	郷, 平田, 廣川, 松村
H 22 年	8	郷 茂夫	植本, 郷, 齋藤, 鈴木, 中村, 平田, 松村, 溝口
H 23 年	8	郷 茂夫	植本, 郷, 齋藤, 鈴木, 中村, 平田, 松村, 溝口,
H 24 年	8	郷 茂夫	郷, 齋藤, 中村, 溝口, 平田, (渡辺*) , (CKK グループ) : 郷, 長安, 服部, 堀中
H 25 年	11	郷 茂夫	魚屋, 河合, 郷, 齋藤, 中村, 平田, 溝口, (渡辺*) , (CKK グループ) : 魚屋, 郷 , 中安, 長安, 服部, 堀中
H 26 年	13	齋藤 興司	魚屋, 河合, 郷, 齋藤, 中村, 原戸, 平田, 溝口, (渡辺 *) , (CKK グループ) : 郷 , 中安, 長安, 服部, 堀中
H 27 年	環境研 6	齋藤 興司	魚屋, 河合, 郷, 齋藤, 原戸, 溝口, (渡辺*)
	環経研 6	長安 敏夫	郷, 中安, 長安, 服部, 堀中, 横堀
H 28 年	環境研 6	齋藤 興司	魚屋, 河合, 郷, 齋藤, 原戸, 溝口, 山本, (渡辺*)
	環経研 6	長安 敏夫	郷, 中安, 長安, 服部, 堀中, 横堀
H 29 年	環境研 6	齋藤 興司	河合, 郷, 齋藤, 原戸, 溝口, 山本,
	環経研 6	長安 敏夫	郷, 中安, 長安, 服部, 堀中, 横堀
H 30 年	10	原戸 卓雄	河合, 郷, 齋藤, 中安, 長安, 西村, 原戸, 溝口, 山本, 横堀
H 31 年	10	原戸 卓雄	河合, 郷, 齋藤, 中安, 長安, 西村, 原戸, 溝口, 山本, 横堀

*中国環境科学技術情報サービスのコメンテーター

CKK : CSR 報告書環境報告書研究グループの略称

5) 装置材料研究会（敬称略）

年度	人数	担当幹事	研究会メンバー
H 21 年	8	鈴木紹夫	篠原, 武川, 斎藤, 加藤, 長谷川, 木原, 半谷
H 22 年	9	鈴木 紹夫	篠原, 武川, 斎藤, 加藤, 長谷川, 木原, 半谷, 梅村
H 23 年	9	梅村 文夫	篠原, 武川, 斎藤, 加藤, 長谷川, 木原, 半谷, 鈴木
H 24 年	9	梅村 文夫	篠原, 武川, 斎藤, 加藤, 長谷川, 木原, 半谷, 鈴木
H 25 年	8	梅村 文夫	篠原, 武川, 斎藤, 加藤, 木原, 半谷, 鈴木
H 26 年	8	梅村 文夫	篠原, 武川, 斎藤, 加藤, 木原, 半谷, 鈴木
H 27 年	8	梅村 文夫	篠原, 武川, 石川, 加藤, 木原, 半谷, 鈴木
H 28 年	9	梅村 文夫	篠原, 武川, 石川, 加藤, 木原, 半谷, 鈴木, 宮澤
H 29 年	9	加藤 敬	武川, 石川, 木原, 半谷, 鈴木, 宮澤, 松田, 梅村
H 30 年	9	加藤 敬	武川, 石川, 木原, 半谷, 鈴木, 宮澤, 松田, 梅村
H 31 年	9	加藤 敬	武川, 石川, 木原, 金原, 鈴木, 宮澤, 松田, 梅村

6) 福島問題研究会（敬称略）

年度	人数	担当幹事	研究会メンバー
H 26 年	8	小林 浩之	小林, 郷, 鈴木, 戸井田, 中尾, 橋本, 松井, 横堀
H 27 年 H 28 年	10	横堀 仁	小林, 郷, 鈴木, 戸井田, 中尾, 中代, 橋本, 松井, 松田, 横堀
H 29 年 H 30 年	10	横堀 仁	牛尾, 小林, 郷, 鈴木, 伊達, 戸井田, 中尾, 橋本, 松井, 松田, 横堀
H 31 年	10	横堀 仁	牛尾, 小林, 鈴木, 伊達, 戸井田, 中尾, 橋本, 松井, 松田, 山下, 横堀 （2019 年 9 月現在）

付録 5-2 2010～2018 年業務受託案件

(否件数には依頼元事情による取止め案件を含む)

2010 年度：依頼件数 計 7 件 諾／否=4/3		
1	機器製造会社	海外製造企業・業界に関する情報提供
2	製造会社	重合プラント（アクリル系・ウレタン系等）建設コンサルティング
3	大学	工業化学科 3 年生向けプロセス制御 講師
4	調査会社	中国石油化学産業技術調査報告書翻訳（日本語→英語）
5	海外企業	製鉄所スラグからのチタン・バナジウム回収コンサルティング
6	大学	化学工学演習および実験指導の特任教授
7	製造会社	高粘性流体の混合方法・評価・シミュレーションに関するアドバイス
2011 年度：依頼件数 計 10 件 諾／否=7/3		
1	製造会社	新規太陽熱利用のための高温伝熱技術コンサルティング
2	製造会社	石油化学プロセス無人化のための運転・保守技術のアドバイス
3	製造会社	エタノール合成プロセスの実験手法・スケールアップ・分離精製技術のコンサルティング
4	製造会社	無機粒子真空成膜技術に関する技術コンサルティング
5	製造会社	医薬製剤機械向けゴム製品・シール部品販売に関するコンサルティング
6	ENG 会社	LNG 液化設備（100 万 t 級）試設計の問題点等のアドバイス
7	製造会社	ガス状物質の回収・精製技術に関するコンサルティング
8	製造会社	カーボンブラック中の金属成分除去技術に関するコンサルティング
9	研究機関	特化則の作成経緯に関する情報提供
10	製造会社	粉塵爆発に関するコンサルティング
2012 年度：依頼件数 計 14 件 諾／否=5/9		
1	化学工学会	企業における化学工学基礎講座講師
2	地方官庁	エネルギー研究会「米を原料とするバイオエタノール製造」に関する情報提供
3	製造会社	ガス化溶融炉設計に関するコンサルティング
4	製造会社	ポリシラザン製造技術改良指導
5	研究会社	各種マニュアル作成指導
6	電機会社	バイオガス発電調査
7	製造会社	黒酵母発酵によるβグルカン製造に関する技術指導
8	調査会社	製造工場での化学物質の製造方法・使用に関する調査(水質関係)
9	調査会社	「戦略的基盤技術高度化支援事業」の技術評価
10	ENG 会社	プロセス設計技術者募集
11	出版会社	「エックス線作業主任者」の試験対策書（テキスト&問題集）執筆
12	製造会社	各種化工計算アウトプット妥当性確認等シミュレーションによる解析
13	製造会社	樹脂関係（熱硬化型・熱可塑型）技術指導
14	製造会社	吸着塔設計および吸着剤選定に関するプレゼンテーション
2013 年度：依頼件数 計 12 件 諾／否=10/2		
1	鉄工会社	アンモニア貯槽におけるブタジエン微量成分混入問題へのアドバイス
2	製造会社	ガス吸収設備に関するコンサルティング
3	出版会社	SCE・Net 活動および安全研究会活動について専門雑誌への投稿
4	調査会社	MSDS の国際基準準拠に伴う整備
5	出版会社	X 線作業主任者試験対策書の校閲
6	調査会社	「戦略的基盤技術高度化支援事業」の技術評価
7	製造会社	窒素ガス回収のための技術コンサルティング
8	調査会社	バイオマスによる化学プロセス開発動向調査
9	ENG 会社	旧ソ連における省エネ等技術支援

10	計装会社	マイクロ波反応装置に関する海外法規制アドバイス
11	公共団体	工場等における火災・爆発・漏洩事故の事例から学ぶ防止対策
12	製造会社	潤滑油生産管理
2014 年度：依頼件数 計 20 件 諾／否=11/9		
1	製造会社	ガス化溶融炉に関する講演
2	製造会社	工場の法令対応状況調査
3	ENG 会社	保全工事部門(機械&電気・計装) 担当者派遣要請
4	調査会社	VOC 対応状況調査
5	製造会社	開発プロセスの安全に関して海外における対応専門家紹介
6	製造会社	事業所の予防保全に関するコンサルティング
7	個人	VOC 処理設備の除去効率に関する証言要請
8	商社	HAZOP プロジェクトリーダー募集
9	調査会社	労働安全に関する講演
10	出版会社	公害防止管理者 1 種(水質) 試験対策本執筆
11	製造会社	吸着技術に関する講演
12	大学	化学工学非常勤講師
13	製薬会社	工業用液体クロマト装置についてコンサルティング
14	ガス会社	プロセス安全メトリックスの米国等海外での使用状況問合わせ対応
15	調査会社	ポリスチレン樹脂セミナー講師
16	大学	化学工学実験常勤職員
17	調査会社	塩ビ関係技術に関する海外へのコンサルタントおよびセミナー講師
18	独立法人	社員への化学プロセスに関する講義
19	ENG 会社	水素回収・圧縮設備の設計コンサルティング
20	製造会社	コーティング用樹脂改良および品質保証体制整備に関するコンサルティング
2015 年度：依頼件数 計 23 件 諾／否=19/4		
1	出版会社	第 1 種放射線取扱主任者試験対策本校閲
2	独立法人	社員への化学プロセスに関する講義
3	調査会社	導電性ペースト・顔料分散技術・工学 TAC フィルム・異種材料接着技術&植物工場に関する海外へのコンサルタントおよびセミナー講師
4	大学	科学技術倫理に関する非常勤講師
5	商社	界面活性剤技術紹介
6	製造会社	各種計算ツールの工業化解析
7	製造会社	高圧ガス自主保安検査第 3 社評価
8	調査会社	芳香族誘導体に関する講演
9	研究法人	事件事例チェックポイントの整備
10	調査会社	アンモニア市場調査
11	調査会社	GTL に関する特許調査及び分類
12	調査会社	塗料・香料・核酸医薬に関する特許調査
13	製造会社	回転機診断技術コンサルティング
14	調査会社	化学プラントの省エネ対策アドバイス
15	IT 関係会社	化学工業基礎に関する HP 上での紹介文執筆
16	調査会社	「戦略的基盤技術高度化支援事業」の技術評価
17	出版会社	公害防止管理者 1 種(水質) 試験対策本校閲
18	製造会社	機能性化学品誘導品コンサルティング
19	調査会社	戦略的基盤技術実機化に対するアドバイス
20	出版会社	エネルギー管理士試験対策本校閲
21	調査会社	ガスクロ分析技術に関するインタビュー
22	調査会社	透析用回路製造技術開発支援
23	調査会社	エラストマー成形・セメント混和剤等各種技術に関する講師

2016 年度：依頼件数 計 20 件 諾／否＝17/3		
1	医薬会社	カプセル化設備改造技術検討および新設設備検討
2	独立法人	社員への化学プロセスに関する講義
3	研究法人	事故事例チェックポイントの整備
4	調査会社	官公庁プロジェクト推進まとめ役支援
5	製造会社	微生物ガスを対象とした反応器の技術コンサルティング
6	ENG 会社	海外での SBR 技術に関するコンサルティング
7	調査会社	電池の試験および状態検出に関する特許調査
8	調査会社	環境・安全に関する調査
9	調査会社	化学物質取扱業種における危険有害性情報の伝達促進
10	調査会社	戦略的基盤技術評価
11	出版会社	電験 3 種試験対策本校閲
12	調査会社	各種プラントの設備・運転・保守データの集約管理
13	調査会社	プラントの水リスク評価
14	海外	塗料・インク用湿潤分散剤に関するコンサルティング
15	製造会社	水蒸気蒸留に関する技術コンサルティング
2017 年度：依頼件数 計 12 件 諾／否＝4/8		
1	大學	エレクトロニクス用有機ケイ素技術者
2	製造会社	危険物 2 類と 4 類を使用する工程の安全性についての技術相談
3	教育関連企業	プロセス工学に関する技術教育
4	調査会社	安全関係特許調査
5	製造会社	製油所のビジネスにおけるプラント経営の観点での解説
6	調査会社	バイオプラスチックに関する調査
7	教育関連企業	PVC、PE、PP の加工技術についての専門家による技術プレゼンテーション
8	製造会社	新規プラント建設を計画基本設計の精査・コストダウンなどの改良のコンサルティング
9	調査会社	製鉄技術に関する技術調査
10	調査会社	石油・化学・鉄鋼産業における低炭素化の業種横断・連携による最適化に係る調査
11	大學	大学院プラクティススクールの学術支援職員採用
12	製造会社	新規工業製品の製造プロセス開発についてのコンサルティング
2018 年度：依頼件数 計 9 件 諾／否＝3/6		
1	企業支援団体	環境負荷低減の取り組み支援調査のための技術専門家派遣
2	製造会社	EHS 監査対応で PSM プログラムの対応（改善）策検討支援のためのコンサルタント
3	個人	水素製造プラントの設計および建設業者の評価および選定業務の支援
4	調査会社	液液抽出技術
5	教育関連企業	公害防止管理者国試対策講座（大気）の講師派遣
6	製造会社	石炭からの溶剤抽出プロセス開発におけるスケールアップの考え方等での専門家による助言
7	製造会社	化学品のピーカースケール試作からのスケールアップのためのコンサルティング
8	製造会社	ラボ試験設備導入に関わるコンサルティング
9	調査会社	殺虫剤原体の自社生産についての、化学合成プロセスの取り組みに関する専門家による助言

付録 5-3 化学工学会年次大会での発表

開催年次	発表者	演題 (口頭発表は(O)、ポスター発表は(P))
第 76 年会 2011 年	鈴木紹夫, 武川哲也	(O) 化学プラント損傷事例の内容と活用法ー重大損傷事例の具体的内容紹介
	松村眞	(O) ライフスタイルと社会システムの変革によるグリーン・イノベーションの推進
	松村眞	(O) プロジェクト方式による「図解・新エネルギーのすべて」の出版
	牛山啓, 澁谷徹, 小谷卓也	(O) プロセス安全メトリックスーCCPS の提案する新しいプロセス安全測定基準の紹介ー
第 77 年会 2012 年	山岸千丈	(O) SCE・Net 12 年の歴史と活動
	山崎徹	(O) 社会人向け公開講座の活動と成果
	小谷卓也, 牛山啓	(O) CCPS プロセス安全メトリックスの作成目的-2011 年改訂版
	牛山啓, 小谷卓也	(O) CCPS プロセス安全メトリックスの改訂内容と事例評価
第 78 年会 2013 年	松村眞	(O) ごみ焼却発電の拡大と発電効率の向上
	長安敏夫, 山岡龍介, 渡辺紘一	(O) SCE・Net 安全研究会の P S B 普及活動
	山岡龍介, 長安敏夫, 渡辺紘一	(O) P S B 記事の実例と活用方法
	小林浩之	(O) シニア・ケミカルエンジニアの活動の場をつくる
第 79 年会 2014 年	松村眞	(O) ごみ焼却発電の市場性とビジネスシナリオ
	服部道夫, 郷茂夫, 堀中新一, 長安敏夫	(O) 環境報告書作成のサポート
	齋藤興司	(O) 中国の論文誌に見る現代中国の化学工場の環境管理技術
	山崎徹	(O) シニアの知見・経験の社会還元-ケミカルエンジニアリングカフェの試み
	澁谷徹	(O) 事例に学ぶ化学プロセス安全
第 80 年会 2015 年	澁谷徹	(P) 事例に学ぶ化学プロセス安全 Beacon の教訓と事故防止の知恵
	中尾眞, 長安敏夫	(P) 現場力の維持向上に貢献する SCE・Net の活動報告
	小林浩之	(O) シニア・ケミカルエンジニアがみる廃炉への道
第 81 年会 2016 年	梅村文夫	(P) SCE・Net の活動報告
	中尾眞	(P) SCE・Net の教育支援
	澤寛	(O) 現場力向上のためのプロセス安全とリスクマネジメント
第 82 年会 2017 年	西村二郎	(O) 低比熱、高放射率塗料が塗られた部屋の省エネルギー性
	竹内亮	(P) 安全教育を実施する人のための講習会
	梅村文夫	(P) 装置材料における技術伝承
	加藤敬	(O) 化学プラント損傷事例から読み解く装置材料の劣化と対策「ステンレス鋼について
第 83 年会 2018 年	竹内亮	(P) プロセス安全の普及活動
	竹内亮	(O) OSHA PSM から「リスクに基づくプロセス安全」へ
第 84 年会 2019 年	中尾眞	(P) プラント現場で役立つ単位操作と安全管理に関する実践講座
	加藤敬	(P) ” 故きを温ねて新しきを知る (温故知新) ” -事例から学ぶ知恵-
	鶴田邦弘	(P) インターネットを利用した遠隔地会員交流が可能なテレビ会議
	飯濱慶	(P) プロセス安全入門

付録5-4 知の市場公開講座 講義リスト

1) 化学技術特論 a ー環境に貢献する化学技術 (2011年～2014年)

2011年講義リスト

番号	講師	タイトル
# 1	服部 道夫	21世紀に始まる新たな潮流
#2	堂腰 範明	公害・環境問題と環境規制
# 3	鬼山 和彦	発生源の作業環境から地域環境へ
# 4	道木 英之	地球環境問題とバイオマス
# 5	栗原 優	水資源確保と保全のための膜技術
# 6	郷 茂夫	日本の水質環境技術と今後の改善方向
# 7	鈴木 邦威	生活環境の快適さに貢献する消脱臭技術
# 8	廣川 一男	廃棄物処理の行政と業界
# 9	堀中 新一	多様化した都市ごみ処理
#10	服部 道夫	「リサイクル (R)」から「3R」へ
#11	熊谷市担当	廃棄物処理の現場 (見学と討議)
#12	熊谷市担当	廃棄物処理の現場 (見学と討議)
#13	飯島 林蔵	廃プラスチックのリサイクル
#14	川田 博美	持続可能なプラスチック
#15	齋藤 興司	環境と安全の日中比較ー中国の化学工場の現場からー

2012年講義リスト

番号	講師	タイトル
# 1	服部 道夫	21世紀に始まる新たな潮流
#2	堂腰 範明	公害・環境問題と環境規制
# 3	森下 悟	環境汚染に挑む吸着技術
# 4	道木 英之	地球環境問題とバイオマス
# 5	栗原 優	水資源確保と保全のための膜技術
# 6	郷 茂夫	水環境の施策と処理技術
# 7	鈴木 邦威	生活環境の快適さに貢献する消脱臭技術
# 8	廣川 一男	廃棄物処理の行政と業界
# 9	堀中 新一	多様化した都市ごみ処理
#10	服部 道夫	「リサイクル (R)」から「3R」へ
#11	亀井 寿之	廃棄物処理の現場 (見学と討議)
#12	堀中新一	

#13	川田 博美	持続可能なプラスチック
#14	飯島 林蔵	廃プラスチックのリサイクル
#15	齋藤 興司	環境と安全の日中比較ー中国の化学工場の現場からー

2013年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	服部 道夫	21世紀に始まる新たな潮流
#2	堂腰 範明	公害・環境問題と環境規制
#3	森下 悟	環境汚染に挑む吸着技術
#4	道木 英之	地球環境問題とバイオマス
#5	栗原 優	水資源確保と保全のための膜技術
#6	郷 茂夫	水環境の施策と処理技術
#7	鈴木 邦威	生活環境の快適さに貢献する消脱臭技術
#8	廣川 一男	廃棄物処理の行政と業界
#9	堀中 新一	多様化した都市ごみ処理
#10	服部 道夫	「リサイクル (R)」から「3R」へ
#11	亀井 寿之	廃棄物処理の現場 (見学と討議)
#12	堀中新一	
#13	川田 博美	持続可能なプラスチック
#14	飯島 林蔵	廃プラスチックのリサイクル
#15	齋藤 興司	環境と安全の日中比較ー中国の化学工場の現場からー

2014年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	鈴木 邦威	排水処理場の余剰汚泥削減の革新技術
#2	畠山 重跳	森は海の恋人
#3	吉村 和就	世界の水問題の行方
#4	龍田 純隆	自然の摂理を知るべき時！農の技～ 農薬はやめられる～
#5	室井 高城	環境浄化に貢献する触媒
#6	山田 研二	レーザー技術と環境
#7	松村 眞	ごみ焼却発・の拡大と発電効率の向上
#8	栗原 優	最先端研究開発支援プログラム；メガトン水システム
#9	浜田 哲夫	化学物質管理の最近の動向と今後の課題 (世界と国内の歩調)
#10	商藤 興司	環境と安全の日中比較ー中国の化学工場の現場からー
#11	伝田 六郎	日本の環境技術は海外で通用しうるのかー旧ソ連圏の事例
#12	服部 道夫	循環型社会に相応しい真の「リサイクル」を求めて

- | | | |
|-----|--------|--------------------|
| #13 | 谷田貝 文夫 | 宇宙環境と地球環境 |
| #14 | 中村 博昭 | 人類の進化と環境リスク・マネジメント |
| #15 | 郷 茂夫 | 放射能環境の中で生きることとは |

2) 化学技術特論 b—社会を支える素材と化学工業 (～2015 年)

2011年講義リスト

番号	講師	タイトル
# 1	山崎 徹	化学工業の特徴と役割
# 2	廣川 一男	石油化学とその誘導品
# 3	牛山 啓	石炭化学と誘導品
# 4	中尾 眞	塩素・アルカリ製品
# 5	小林 浩之	ポリエチレン・ポリプロピレン
# 6	一色 実	塩化ビニル樹脂
# 7	渡邊 紘一	合成ゴム
# 8	山岸 千丈	セメント
# 9	小林 浩之	スチレン系樹脂
#10	本間 精一	エンジニアリングプラスチック
#11	栗原 優	逆浸透膜
#12	廣谷 精	バイオテクノロジー製品ー 発酵製品
#13	山崎 徹	生物医薬 (モダンバイオテクノロジー)
#14	大林 元太郎	電子材料・ディスプレイ材料
#15	國友 哲之輔	医療用樹脂と医療機器

2012年講義リスト

番号	講師	タイトル
# 1	山崎 徹	化学工業の特徴と役割
# 2	戸澤 洋一	石油化学とその誘導品
# 3	牛山 啓	石炭化学と誘導品
# 4	中尾 眞	塩素・アルカリ製品
# 5	小林 浩之	ポリエチレン・ポリプロピレン
# 6	一色 実	塩化ビニル樹脂
# 7	渡邊 紘一	合成ゴム
# 8	山岸 千丈	セメント
# 9	小林 浩之	スチレン系樹脂

#10	本間 精一	エンジニアリングプラスチック
#11	栗原 優	逆浸透膜
#12	森永 康	バイオテクノロジー製品ー 発酵製品
#13	山崎 徹	生物医薬 (モダンバイオテクノロジー)
#14	大林 元太郎	電子材料・ディスプレイ材料
#15	國友 哲之輔	医療用樹脂と医療機器

2013年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	山崎 徹	化学工業の特徴と役割
#2	戸澤 洋一	石油化学とその誘導品
#3	牛山 啓	芳香族誘導品
#4	中尾 眞	塩素・アルカリ製品
#5	一色 実	塩化ビニル樹脂
#6	渡邊 紘一	合成ゴム
#7	小林 浩之	ポリエチレン・ポリプロピレン
#8	本間 精一	エンジニアリング・プラスチック
#9	小林 弘明	炭素繊維
#10	栗原 優	逆浸透膜
#11	大林 元太郎	電子材料・ディスプレイ材料
#12	増田 房義	高吸水性樹脂
#13	國友 哲之輔	医療用樹脂と医療機器
#14	森永 康	バイオテクノロジー製品ー 発酵製品
#15	山崎 徹	生物医薬 (モダンバイオテクノロジー)

2014年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	山崎 徹	化学工業の特徴と役割
#2	八木 宏	石油化学とその誘導品
#3	牛山 啓	芳香族誘導品
#4	中尾 眞	塩素・アルカリ製品
#5	渡邊 紘一	合成ゴム
#6	小坂田史雄	塩化ビニル樹脂
#7	細田 覚	ポリオレフィン
#8	安田 武夫	エンジニアリング・プラスチック
#9	小林 弘明	炭素繊維

#10	栗原 優	逆浸透膜
#11	大林 元太郎	電子材料・ディスプレイ材料
#12	増田 房義	高吸水性樹脂
#13	國友 哲之輔	医療用樹脂と医療機器
#14	森永 康	発酵製品
#15	山崎 徹	生物医薬

2015年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	山崎 徹	化学工業の特徴と役割
#2	八木 宏	石油化学とその誘導品
#3	牛山 啓	芳香族誘導品
#4	中尾 眞	塩素・アルカリ製品
#5	小坂田史雄	塩化ビニル樹脂
#6	細田 覚	ポリオレフィン
#7	安田武夫	エンジニアリングプラスチック
#8	中村 博昭	写真フィルムとコーティング技術
#9	花野 徹	炭素繊維
#10	栗原 優	逆浸透膜
#11	多羅尾 良吉	電子材料（ディスプレイ材料）
#12	増田 房義	高吸水性樹脂等の機能化学品の開発
#13	國友 哲之輔	医療用樹脂と医療機器
#14	森永 康	機能性化学品（2）バイオテクノロジー製品 発酵製品
#15	山崎 徹	機能性化学品 - （2）バイオテクノロジー製品 生物医薬

3）化学技術事例研究—研究の工業化の成功と失敗事例から成功の羅針盤を探る（～2013年）

2012年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	廣川 一男	変わりつつある化学工業の事業分野と技術開発
#2	山岸 千丈	デスバレイ（死の谷）を越えたものと落ちたもの
#3	重田 昌友	中堅化学会社の研究開発経営
#4	郷 茂夫	化学プラントのスケールアップ理論と教訓
#5	金岡 正純	合繊企業におけるケミカル・新規事業製品の成功と失敗の事例
#6	堀中 新一	廃タイヤの熱分解による資源化技術
#7	廣谷 精	アミノ酸発酵工程の連続化の効用と問題点

#8	山下 邦彦	環境保全、安全性と経済性を両立させるクリーンプロセス
#9	小松 昭英	エンジニアリング企業の受注業務としてのプロセス開発とプラント設計
#10	山崎 徹	既存製品合理化および新製品開発におけるプロセス革新の事例
#11	斎藤 浩	工業用液体クロマト装置の工業化と事業化への挑戦
#12	山本 一己	高効率攪拌翼の工業化
#13	斎藤 浩	工業用液体クロマト装置の工業化と事業化への挑戦
#14	梅村 文夫	ボイラの水処理の歴史を変えた酸素処理への挑戦と成功の記録
#15	綾部 孝夫	化学工業における技術と経営

2013年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	廣川 一男	変わりつつある化学工業の事業分野と技術開発
#2	山岸 千丈	デスバレイ（死の谷）を越えたものと落ちたもの
#3	重田 昌友	中堅化学会社の研究開発経営
#4	郷 茂夫	化学プラントのスケールアップ理論と教訓
#5	金岡 正純	合繊企業におけるケミカル・新規事業製品の成功と失敗の事例
#6	堀中 新一	廃タイヤの熱分解による資源化技術
#7	廣谷 精	アミノ酸発酵工程の連続化の効用と問題点
#8	山下 邦彦	環境保全、安全性と経済性を両立させるクリーンプロセス
#9	小松 昭英	エンジニアリング企業の受注業務としてのプロセス開発とプラント設計
#10	山崎 徹	既存製品合理化および新製品開発におけるプロセス革新の事例
#11	斎藤 浩	工業用液体クロマト装置の工業化と事業化への挑戦
#12	山本 一己	高効率攪拌翼の工業化
#13	松田 臣平	酸化チタン系排煙脱硝触媒の開発
#14	梅村 文夫	ボイラの水処理の歴史を変えた酸素処理への挑戦と成功の記録
#15	綾部 孝夫	事業戦略と研究開発

4) 機能化学品実践論—生活を演出するパフォーマンス・ケミカルスの働き (2011～2012年)

2011年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	前田 浩平	パフォーマンス・ケミカルとは
#2	川口 幸治	洗浄 —きれいに洗う

#3	井上 雅仁	湿潤・浸透 ーぬらす・しみこませ
#4	長谷川 博史	乳化 ー水と油を混ぜる
#5	長谷川 博史	分散 ーちらす
#6	三浦 秀司	起泡・消泡 ー泡をたてる・泡を消す
#7	三浦 秀司	潤滑・平滑ー滑らせる
#8	川口 幸治	柔軟・可塑ー柔らかくする
#9	川口 幸治	滅菌・抗菌ー微生物の増殖を防ぐ
#10	鈴木 一充	界面活性剤の機能 防錆 ー錆を防ぐ
#11	田中 智	増粘・減粘ー粘度を変える
#12	川上 貴教	接着・粘着ーくっつける
#13	千田 英一	帯電防止 ー帯電を防ぐ
#14	川口 忍	凝集 ー集めて沈殿させる
#15	田中 敬次	吸水・保水ー水を吸い取る

2012年講義リスト

番号	講師	タイトル
#1	前田 浩平	パフォーマンス・ケミカルとは
#2	川口 幸治	界面活性剤の機能 洗浄 ーきれいに洗う
#3	井上 雅仁	界面活性剤の機能 湿潤・浸透 ーぬらす・しみこませ
#4	長谷川 博史	界面活性剤の機能 乳化 ー水と油を混ぜる
#5	長谷川 博史	界面活性剤の機能 分散 ーちらす
#6	三浦 秀司	界面活性剤の機能 起泡・消泡 ー泡をたてる・泡を消す
#7	三浦 秀司	界面活性剤の機能 潤滑・平滑ー滑らせる
#8	川口 幸治	界面活性剤の機能 柔軟・可塑ー柔らかくする
#9	川口 幸治	界面活性剤の機能 滅菌・抗菌ー微生物の増殖を防ぐ
#10	鈴木 一充	界面活性剤の機能 防錆 ー錆を防ぐ
#11	田中 智	高分子薬剤の機能 増粘・減粘ー粘度を変える
#12	川上 貴教	高分子薬剤の機能 接着・粘着ーくっつける
#13	千田 英一	高分子薬剤の機能 帯電防止 ー帯電を防ぐ
#14	川口 忍	高分子薬剤の機能 凝集 ー集めて沈殿させる
#15	田中 敬次	高分子薬剤の機能 吸水・保水ー水を吸い取る

5)原子力・放射能基礎論ー原子力と放射能の基礎から応用までを学ぶ (2012年～2018年)

2012年講義リスト

番号	講師	タイトル
----	----	------

# 1	郷 茂夫	放射性物質の物理と化学
# 2	桑江 良明	原子力発電のしくみと意義
# 3	岡村 章	原子燃料サイクルと放射線
# 4	岡村 章	原子力発電所の安全性とリスク
# 5	松原 昌平	放射線の測定
# 6	亀山 雅司	放射線の基準と被曝
# 7	横堀 仁	放射性物質による環境汚染と除染
# 8	中村 博昭	放射性物質による環境汚染と私達の対応

2013年講義リスト

番号	講師	タイトル
# 1	桑江 良明	原子力の基礎と原子力発電の仕組み
# 2	岡村 章	原子燃料サイクル
# 3	岡村 章	原子力発電所の安全性とリスク
# 4	亀山 雅司	放射能の種類と被曝、放射線利用
# 5	白川 正広	放射線の測定
# 6	横堀 仁	放射性物質による環境汚染と除染活動の現状
# 7	河田 東海夫	放射性廃棄物処分の体系と現状
# 8	梅村 文夫	原子力発電の材料問題と材料に及ぼす放射線の影響
# 9	谷田貝 文夫	放射線の生物作用
#10	谷田貝 文夫	放射線の人体に与える影響
#11	郷 茂夫	放射能の物理・化学から原子力トピックスを考える

2014年講義リスト

番号	講師	タイトル
# 1	亀山 雅司	原子力エネルギーと私達の係わり
# 2	横堀 仁	原子力と放射線の物理・化学入門（１）
# 3	横堀 仁	原子力と放射線の物理・化学入門（２）
# 4	桑江 良明	原子力の基礎と原子力発電の仕組み
# 5	岡村 章	原子力発電の特徴と原子燃料サイクル
# 6	岡村 章	原子力発電所の安全性とリスク
# 7	亀山 雅司	原発の重要設備、安全システム、メンテナンス、法令規制
# 8	戸井田 良晴	福島原発、再処理工場から放出されるトリチウム
# 9	河田 東海夫	放射性廃棄物処分の体系
#10	梅村 文夫	原子力発電の材料問題と材料に及ぼす放射線の影響
#11	青山 敬	放射線の測定

- | | | |
|-----|--------|---------------------|
| #12 | 河田 東海夫 | 放射性物質による環境汚染と環境修復 |
| #13 | 谷田貝 文夫 | 放射線は、何故、生命に脅威を与えるのか |
| #14 | 谷田貝 文夫 | 放射線の健康影響―低線量域― |
| #15 | 實野 孝久 | 核融合の原理及び研究の現状と課題 |

2015年講義リスト

- | 番号 | 講師 | タイトル |
|-----|--------|----------------------------|
| #1 | 亀山 雅司 | 原子力エネルギーと私たちのかかわり |
| #2 | 桑江 良明 | 原子力の基礎と原子力発電の仕組み |
| #3 | 横堀 仁 | 原子力・放射線の物理・化学と放射線利用 |
| #4 | 青山 敬 | 放射線の測定 |
| #5 | 梅村 文夫 | 原子力発電の材料問題と材料に及ぼす放射線の影響 |
| #6 | 岡村 章 | 原子力発電の特徴と原子燃料サイクル |
| #7 | 谷田貝 文夫 | 放射線と人体とのかかわり |
| #8 | 岡村 章 | 原子力発電所の安全性とリスク |
| #9 | 河田 東海夫 | 放射性廃棄物処分の体系と現状 |
| #10 | 谷田貝 文夫 | 放射線の健康影響―低線量域― |
| #11 | 實野 孝久 | 核融合の原理及び研究の現状と福島復興への提案 |
| #12 | 亀山 雅司 | 原発の重要設備、安全システム、メンテナンス、法令規制 |

2016年講義リスト

- | 番号 | 講師 | タイトル |
|-----|--------|--------------------|
| #1 | 郷 茂夫 | 原子力・放射能の物理と化学 |
| #2 | 青山 敬 | 放射線測定の基礎 |
| #3 | 谷田貝 文夫 | 放射線の健康影響と防護 |
| #4 | 桑江 良明 | 核分裂と原子力発電 |
| #5 | 河田 東海夫 | 核燃料サイクルの現状 |
| #6 | 河田 東海夫 | 原子力発電の安全性 |
| #7 | 横堀 仁 | 福島原発の現況（オンサイトの状況） |
| #8 | 戸井田 良晴 | トリチウム問題と環境放射線 |
| #9 | 河田 東海夫 | 除染と廃棄物処理（オフサイトの状況） |
| #10 | 岡村 章 | 福島第一原発事故の原因と新規規制基準 |
| #11 | 谷田貝 文夫 | 低線量・低線量率被ばくの健康影響 |
| #12 | 岡村 章 | 原発の安全確保対策―海外との比較 |
| #13 | 亀山 雅司 | これからのエネルギーの選択肢 |
| #14 | 亀山 雅司 | 補足講義と総合ディスカッション |

2017年講義リスト

番号	講師	タイトル
# 1	郷 茂夫	原子力・放射能の物理と化学
# 2	谷田貝 文夫	放射線と生命（1）
# 3	谷田貝 文夫	放射線と生命（2）
# 4	河田 東海夫	核燃料サイクルの現状
# 5	桑江 良明	核分裂と原子力発電
# 6	青山 敬	放射線測定的基础
# 7	横堀 仁	福島原発の現況
# 8	戸井田 良晴	トリチウム問題
# 9	河田 東海夫	除染と廃棄物処理
# 10	谷田貝 文夫	低線量被曝の健康影響
# 11	河田 東海夫	原子力発電の安全性
# 12	河田 東海夫	原子力開発の歴史と将来
# 13	亀山 雅司	これからのエネルギーの選択肢
# 14	亀山 雅司	総合ディスカッション

2018年講義リスト

番号	講師	タイトル
# 1	郷 茂夫	物理と化学（1）
# 2	青山 敬	放射線と防護
# 3	横堀 仁	物理と化学（2）
# 4	谷田貝 文夫	生物
# 5	河田 東海夫	原子力開発の歴史
# 6	岡村 章	原子力発電のしくみと核燃料サイクル
# 7	岡村 章	原子力発電の安全性と規制
# 8	横堀 仁	福島原発オンサイトの現況と廃炉
# 9	戸井田 良晴	トリチウム廃棄問題
# 10	青山 敬	放射線の測定（実習）
# 11	谷田貝 文夫	放射線被ばくの問題（1）
# 12	谷田貝 文夫	放射線被ばくの問題（2）
# 13	河田 東海夫	放射性廃棄物処分問題

- | | | |
|-----|---------------|---------------------------|
| #14 | 岡村 章,
横堀 仁 | 原子力発電の現状と将来技術 |
| #15 | 亀山 雅司 | これからのエネルギーの選択肢と総合ディスカッション |

2019年講義リスト

- | 番号 | 講師 | タイトル |
|-----|---------------|-----------------------|
| #1 | 郷 茂夫 | 原子力と放射線に係る物理化学の基礎 |
| #2 | 横堀 仁 | 核反応の基礎論 |
| #3 | 桑江 良明 | 原子力発電の仕組みと核燃料 |
| #4 | 横堀 仁 | 福島原発の現況と廃炉計画・放射線の利用 |
| #5 | 青山 敬 | 放射線総論 |
| #6 | 青山 敬 | 放射線の測定（実習） |
| #7 | 谷田貝 文夫 | 何故、放射線が人体に影響を与えるのか |
| #8 | 谷田貝 文夫 | 健康影響についての質問に対する説明と討議 |
| #9 | 鶴岡 千鶴 | 放射線による影響 |
| #10 | 鶴岡 千鶴 | 放射線誘発がんを考える |
| #11 | 河田 東海夫 | 原子力エネルギー開発の歴史と核燃料サイクル |
| #12 | 河田 東海夫 | 放射性廃棄物処分 |
| #13 | 戸井田 良晴 | トリチウムの安全性 |
| #14 | 高畑一也 | 核融合技術の進展 |
| #15 | 岡村 章,
横堀 仁 | 原子力発電の安全性と総合ディスカッション |

6) エネルギーシステム論—エネルギーの供給と利用の変革 (2012年～2014年)

2012年講義リスト

- | 番号 | 講師 | タイトル |
|----|-------|----------------|
| #1 | 持田 典秋 | エネルギーの需要と供給 |
| #2 | 持田 典秋 | 再生可能エネルギー |
| #3 | 神田 稔久 | 天然ガス供給の仕組み |
| #4 | 中村 泰三 | 発電と送配電の仕組み |
| #5 | 松村 眞 | 石油燃料供給の仕組み |
| #6 | 岸田 隆夫 | エネルギーの供給基盤 |
| #7 | 瀧本 憲一 | 電力貯蔵方法と電池 |
| #8 | 中村 修三 | 電熱併給コージェネレーション |

- | | | |
|------|------|--------------------|
| # 9 | 松村 眞 | 家庭の省エネルギー対策 |
| # 10 | 松村 眞 | 社会システムの変革による省エネルギー |

2013年講義リスト

- | 番号 | 講師 | タイトル |
|------|-------|--------------------|
| # 1 | 持田 典秋 | エネルギーの需要と供給 |
| # 2 | 持田 典秋 | 再生可能エネルギー |
| # 3 | 持田 典秋 | 非在来型化石エネルギー |
| # 4 | 神田 稔久 | 天然ガス供給の仕組み |
| # 5 | 松村 眞 | 石油燃料供給の仕組み |
| # 6 | 中村 泰三 | 発電と送配電の仕組み |
| # 7 | 岸田 隆夫 | エネルギーの供給基盤 |
| # 8 | 瀧本 憲一 | 電池の種類と特徴 |
| # 9 | 松村 眞 | 電力貯蔵のニーズと技術 |
| # 10 | 中村 修三 | コージェネシステム&ヒートポンプ概要 |
| # 11 | 松村 眞 | 家庭の省エネルギー対策 |
| # 12 | 松村 眞 | 社会システムの変革による省エネルギー |

付録 5-5a 化学工学入門講座のタイトル

第1回 2014年(6月17日、6月24日、7月1日)

番号	講師	タイトル
#1	長安 敏安	化学工学の基礎
#2	山崎 徹	流体工学入門
#3	平木 一郎	熱工学入門
#4	河合 治之	反応工学入門
#5	松井 達郎	分離操作Ⅰ 蒸留
#6	中尾 眞	分離操作Ⅱ ガス吸収と膜分離

第2回 2015年(7月1日、7月8日、7月15日)

番号	講師	タイトル
#1	長安 敏安	化学工学の基礎
#2	山崎 徹	流体工学入門
#3	平木 一郎	熱工学入門
#4	河合 治之	反応工学入門
#5	竹内 亮	分離操作Ⅰ 蒸留
#6	中尾 眞	分離操作Ⅱ ガス吸収と膜分離

第3回 2016年(7月6日、7月13日、7月20日)

番号	講師	タイトル
#1	長安 敏安	化学工学の基礎
#2	山崎 徹	流体工学入門
#3	平木 一郎	熱工学入門
#4	河合 治之	反応工学入門
#5	竹内 亮	分離操作Ⅰ 蒸留
#6	中尾 眞	分離操作Ⅱ ガス吸収と膜分離

第4回 2017年(6月12日、6月19日、6月26日)

番号	講師	タイトル
#1	澤 寛	化学工学の基礎
#2	宮本 公明	流体工学入門
#3	平木 一郎	熱工学入門
#4	河合 治之	反応工学入門
#5	竹内 亮	分離操作Ⅰ 蒸留
#6	中尾 眞	分離操作Ⅱ ガス吸収と膜分離

第5回 2018年(6月12日、6月19日、6月26日)

番号	講師	タイトル
#1	長安 敏安	化学工学の基礎
#2	宮本 公明	流体工学入門
#3	平木 一郎	熱工学入門
#4	河合 治之	反応工学入門
#5	竹内 亮	分離操作Ⅰ 蒸留
#6	中尾 眞	分離操作Ⅱ ガス吸収と膜分離

第6回 2019年(6月17日、6月24日、7月1日)

番号	講師	タイトル
#1	福原 三郎	化学工学の基礎
#2	宮本 公明	流体工学入門
#3	山本 一己	熱工学入門
#4	稲葉 正志	反応工学入門
#5	竹内 亮	分離操作Ⅰ 蒸留
#6	中尾 眞	分離操作Ⅱ ガス吸収と膜分離

付録 5-5b 安全講習会プログラム

第1回 (2016年12月14日)

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 講義 プロセス安全とリスクマネジメントを実践するために | 澤 寛 |
| 2. グループ演習 現場で行う安全講習会のために | 竹内 亮 |

第2回 (2017年9月1日)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 講義1 事故事例を現場で活用するために | 井内 謙輔 |
| 2. 講義2 プロセス安全とリスクマネジメントを実践するために | 澤 寛 |
| 3. グループ演習 現場で行う安全講習会のために | 竹内 亮 |

第3回 (2018年9月12日)

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 講義1 事故事例を現場で活用するために | 井内 謙輔 |
| 1) 運転現場でのプロセス安全の勧め | |
| 2) 事故進展フロー図の活用 | |
| 3) チェックポイント集による事故防止対策 | |
| 4) プロセス安全メトリックスによる安全管理の弱点克服 | |
| 2. 講義2 プロセス安全とリスクマネジメントを実践するために | 澤 寛 |
| 1) プロセス安全の目的と、リスクマネジメント | |
| 2) プロセス安全の構成要素と、安全設計を実現するために | |
| 3) リスク評価の手法 | |
| 3. グループ演習 現場で行う安全講習会のために | 竹内 亮 |
| 1) 安全講習会の準備 | |
| 1. 安全講習会の計画の作成(目的に応じた講習会の準備について) | |
| 2. 安全講習の資料作り(教本からテーマを選択、画像の活用) | |
| 2) 安全講習実施上の技術 | |
| 1. 目的と教育効果を意識した講習のあり方(グループ討議の方法を体験) | |
| 2. 現場の安全に活かす方法(受講者への配慮、行動計画への反映) | |

第4回（2019年7月7日）

1. 開講に当たって（RBPSを学ぶ意義について）竹内 亮 氏
2. リスクに基づくプロセス安全（RBPS）の基礎井内 謙輔 氏
 - 1) プロセス安全の歴史
 - 2) OSHA 法規制と RBPS の違い
 - 3) RBPS の基本となるピラーとエレメントの解説
3. RBPS による事例研究（グループ・ディスカッション形式）飯濱 慶 氏
 - 1) イリノイ州、F P C 社 塩ビモノマー爆発山本 一己 氏
 - 2) テキサスシティー、B P 社製油所 爆発
4. RBPS の実務への応用竹内 亮 氏
 - 1) RBPS を設計に反映するために
 - 2) 職場でのプロセス安全
 - 3) 質疑応答

付録 5-6 ケミカルエンジニアリング・カフェ プログラム

<過去の講演記録>

第1回 2015.01 @東京農工大学

- ① “ちょっと待てよ”で開拓した人生 (山本 彊)
- ② エンジニアリング企業で働いて (川瀬 健雄)
- ③ 研究開発で楽しかったこと、苦しかったこと (中尾 眞)
- ④ 私の経験した化学工学 (小林 浩之)

第2回 2015.12 @東京工業大学

- ① 素材産業での技術者人生 (山岸 千丈)
- ② 化学会社の現場で学んだこと (渡邊 紘一)
- ③ ケミカルズものづくり・人づくり (川瀬 進)
- ④ 高速増殖原型炉から学んだこと (横堀 仁)
- ⑤ 私の経験したインターンシップ (小林 浩之)

第3回 2016.12 @東京農工大学

- ① 化学企業での技術者としての仕事 (猪股 勲)
- ② ガス会社で経験した多くのこと (神田 稔久)
- ③ 不便な環境も転職もステップアップに悪くない (八木 宏)
- ④ 留学経験と外資系企業での製造経験 (澤 寛)

第4回 2017.12 @早稲田大学

- ① MOT (技術経営) の視点から (宮木 宏尚)
- ② 鉄鋼会社における開発人生 (持田 典秋)
- ③ 人生はアドベンチャー (竹内 亮)

第5回 2018.12 @早稲田大学

- ① Chemical Engineering と Chemical Engineer (澁谷 徹)
- ② 私の留学体験—その影響と留学のすすめ (宮本 公明)
- ③ 変化を楽しむ (飯濱 慶)

付録 5-7 化学装置 P S B ・安全談話室連載投稿記録

年	月	タイトル	執筆者
2001	11	微量の引火性物質でも事故を起こす可能性あり！	飯濱 慶
	12	雪や氷の危険性－滑った, 転んだでは済まされない	竹内 亮
2002	1	爆発	小谷 卓也
	2	真空の力は強力である！	渡邊 紘一
	3	防護層 必要なものである	井内 謙輔
	4	飛んで行ったボンベ	斎藤 興司
	5	…そして爆発は建屋を吹き倒した	澁谷 徹
	6	配管系をからませるな	中村 喜久男
	7	性能が出ないシール！	小谷 卓也
	8	高速弾丸より早い	長安 敏夫
	9	2001 年 9 月 11 日の回想	松井 悦郎
	10	鳥だ, 飛行機だ, ……ポンプだ！	飯濱 慶
	11	何がスチームを発生させたのか？	澤 寛
	12	セキュリティーそれは全員の仕事だ	井内 謙輔
2003	1	クリアランスを確認せよ	飯濱 慶
	2	ここでも起こるかもしれない! 消防訓練は充分か？	竹内 亮
	3	反応性の化学：思わぬ時に, 思わぬ所で化学反応が…	斎藤 興司
	4	なんで? 火花はないのに？	澁谷 徹
	5	” 名案 ” も悪い結果になり得る…	長安 敏夫
	6	インターロックにはわけがある…	山本 一己
	7	静電気＋可燃物＋空気＝??	山本 一己
	8	化学品をただ混合しただけで…	三平 忠宏
	9	粉じんがこれを起こした????	松井 悦郎
	10	頭頂部をボンと飛ばすな…	渡邊 紘一
	11	圧力レーティングは良かったのだが…!?	牛山 啓
	12	まるでクリスマスツリーの様で, 訳が分からない	中村 喜久男
2004	1	燃料の空気との不適切な混合を避けよ	山岡 龍介
	2	閉鎖空間内の引火性ガス＝ボカーン！	牛山 啓
	3	たった今, 停電したら…	山本 一己
	4	この危険性が見えますか？	牛山 啓
	5	火気使用工事を安全に開始して…	中村 喜久男

	6	フリックスボローー30年前・・・	飯濱 慶
	7	取付不良+腐食=破損！	小谷 卓也
	8	塩素移送ホースの破損	斎藤 興司
	9	オーバーフロー+着火源=タンクヤード火災	山岡 龍介
	10	必要な時に使えるの???	澁谷 徹
	11	無許可の手順変更=火災	飯濱 慶
	12	ボパールー悲劇的な事故	山岡 龍介
2005	1	2004年の復習-学んだ教訓を思い出そう！	長安 敏夫
	2	断熱材は腐食防止ではない	牛山 啓
	3	塔頂がロケットのように飛ぶ	渡邊 紘一
	4	圧力による爆発の結果	渡邊 紘一
	5	貯蔵区域は完全に破壊された	澁谷 徹
	6	多すぎる起動・停止スイッチ	三平 忠宏
	7	パイパーアルファ石油プラットフォーム破壊	澤 寛
	8	排水溝内での毒性反応は命取り	竹内 亮
	9	2001年9月11日ー決して忘れられるべきではない！	松井 悦郎
	10	ガス漏れがプラントを破壊	竹内 亮
	11	ハリケーンカトリーナー緊急時対応と復旧	三平 忠宏
	12	スタートアップでの危険要因	長安 敏夫
2006	1	時間経過に敏感な化学物質ーそして50件のCCPSのPSBによる教訓の共有	澤 寛
	2	2005年ビーコンの復習ー学んだことを思い出そう	澤 寛
	3	圧力開放システムーここに潜む危険がわかりますか？	山本 一己
	4	機械的に健全であること	澁谷 徹
	5	粉塵爆発災害	岩村 孝雄, 日置 敬
	6	このバルブは開いている？それとも・・・	長安 敏夫, 山崎 博
	7	こんな状態でパレット保管している？	小林 浩之, 澁谷 徹
	8	静電気	宇野 洋, 中川 雅造
	9	タンクの過充填ー何が起こった？	日置 敬, 山岡 龍介
	10	ボンベの保管は適切か？	岩村 孝雄, 渡邊 紘一
	11	直列に並んだ圧抜き装置の危険性	長安 敏夫, 山崎 博
	12	液化ガスボンベ破損	小林 浩之, 澁谷 徹
2007	1	2006年Beaconレビュー	-
	2	真空（減圧）事故ー潰れたタンク	宇野 洋, 日置 敬

	3	計装—あなたは（計器に）騙される？	岩村 孝雄, 山岡 龍介
	4	Mr.Potato Head（品のないやつ）が降りてきた！	渡邊 紘一, 山崎 博
	5	1919 年 Great Boston での糖蜜大流出	長安 敏夫, 澁谷 徹
	6	プロセスの安全文化	小林 浩之, 宇野 洋
	7	ダクトテープで補修したホースが火災の原因	日置 敬, 山岡 龍介
	8	一時的に仕切られた空間の危険性	岩村 孝雄, 渡邊 紘一
	9	火気工事許可	山崎 博, 長安 敏夫
	10	発射してしまった！！	小林 弘之, 澁谷 徹
	11	低温脆性と熱応力	日置 敬, 宇野 洋
	12	静電放電による石油タンク火災	岩村 孝雄, 山岡 龍介
2008	1	2007 年ビーコン復習 — 教訓を忘れないよう！	小谷 卓也
	2	“The Beacon”をどう利用できるか？	長安 敏夫, 澁谷 徹
	3	遮断システムは現実には働く？	長安 敏夫, 澁谷 徹
	4	建設工事で破損したガソリンパイプラインで火災	小林 浩之, 宇野 洋
	5	砂糖に爆発の危険がある？	日置 敬, 山岡 龍介
	6	ハロンボンベがロケットに！	岩村 孝雄, 渡邊 紘一
	7	「プロセス安全」とは何か？	山崎 博, 長安 敏夫
		Process Safety Metrics	小谷卓也, 牛山啓, 澁谷 徹, 山崎博, 長安敏夫
	8	プロセス安全成績の評価	澁谷 徹, 牛山 啓
	9	プラントの保安	加治 久継, 小林 浩之
	10	氷は使われていない配管を壊し火災をひき起こす	日置 敬, 宇野 洋
	11	研究室冷蔵庫の爆発—電気機器区分	岩村 孝雄, 山岡 龍介
2009	12	静電気の放電は火災を呼ぶ	渡邊 紘一, 山崎 博
	1	運搬用容器に充てん中の火災！	小谷 卓也
	2	容器充填時の火災からの更なる学習	澁谷 徹, 長安 敏夫
	3	貯蔵タンクへの禁忌化学品送入で死亡事故	加治 久継, 牛山 啓
	4	備えよ 常に	小林 浩之, 斎藤 興司
	5	機器の健全性	日置 敬, 山岡 龍介
	6	不況時でも安全を忘れるべからず	井内謙輔, 渡邊紘一
	7	安全計装システムとは何か？	山崎 博, 長安 敏夫
	8	危険を過小評価するな！	澁谷 徹, 加治 久継
	9	オーバーフロー＋着火＝タンクヤード火災！（その１）	牛山 啓, 小林 浩之
	10	オーバーフロー＋着火＝タンクヤード火災！（その２）	日置 敬, 斎藤 興司

	11	BLEVE（ブレビー, 沸騰液体蒸気膨張爆発）	中村喜久男, 山岡龍介
	12	ボパール悲劇?25 年前	井内謙輔, 渡邊紘一
2010	1	腐食（コロージョン）と浸食（エロージョン）	小谷卓也, 中村喜久男
	2	忘れてはいけない！	山崎 博, 長安 敏夫
	3	設備の敷地割り	澁谷 徹, 加治 久継
	4	長ボルトフランジレスバルブの火炎防護	小林 浩之, 牛山 啓
	5	構造支柱類の耐火施	斎藤 興司, 山岡 龍介
	6	防油堤とパッド	井内謙輔, 中村喜久男
	7	受動的な安全設備	山崎 博, 渡邊 紘一
	8	悲劇からまず学ぶこと	澁谷 徹, 長安 敏夫,
	9	誰かプロセス安全情報（PSI）を見た人がいる??	牛山 啓, 加治 久継
	10	危険性物質の貯蔵と出荷	小林 浩之, 斎藤 興司
	11	二つのバルブアクチュエータの破裂事故！	中村喜久男, 山岡龍介
	12	冬の用意はできましたか？	井内謙輔, 渡邊 紘一
2011	1	蒸気雲爆発	山崎 博, 長安 敏夫
	2	熱媒体の反応性を理解しておくこと！	澁谷 徹, 加治 久継
	3	容器は小さくても大事を起こす！	小林 浩之, 牛山 啓
	4	小さな漏れを侮って巨大な漏れにするな！	斎藤 興司, 山岡 龍介
	5	引火性物質の屋内放出が爆発を引き起こす！	中村喜久男, 井内謙輔
	6	自然災害への備えはできていますか？	山崎 博, 渡邊 紘一
	7	交替勤務	澁谷 徹, 長安 敏夫
	8	密集地域での引火性ベーパー放出の危険性	加治 久継, 牛山 啓
	9	放置設備の危険性	小林 浩之, 斎藤 興司
	10	ホースの危険性	中村喜久男, 山岡龍介
	11	一つの事故から 3 つの Beacon	井内謙輔, 渡邊紘一
	12	キャップとプラグーいつか無くしてしまう！	長安 敏夫, 山崎 博
2012	1	明かりが消えると何が起るか？	加治 久継, 牛山 啓
	2	力学的健全性—ボルトが短すぎる！	小林 浩之, 斎藤 興司
	3	ダブルブロック・アンド・ブリード	山岡 龍介, 澁谷 徹
	4	間違った物質をタンクに入れるとどうなるか？	中村喜久男, 井内謙輔
	5	小配管の機械的健全性	山崎 博, 渡邊 紘一
	6	窒素？ 危険性と防護！	澁谷 徹, 長安 敏夫
	7	緊急時の備え？ タイタニックの悲劇！	牛山 啓, 加治久継
	8	火気使用工事の危険！	中村喜久男, 山岡 龍介

	9	私に何ができるか？	小林 浩之, 斎藤 興司
	10	一時的変更でも適切に管理せよ！	井内 謙輔, 渡邊 紘一
	11	あなたは安全上の問題点を見つけることができますか？	山崎 博, 長安 敏夫
	12	安全のためにはしっかりした現場管理（5S）を！	加治久継, 澁谷 徹
2013	1	12年1月号“問題点を見つけよう”コンテストへの回答から	小林 浩之, 牛山 啓
	2	何があなたの装置を支えているか	斎藤 興司, 山岡 龍介
	3	プラントの標識やラベルが間違いやすくなっていますか	井内 謙輔, 中村喜久男
	4	安全弁のチャタリングを聞いたことがありますか？	山崎 博, 渡邊 紘一
	5	安全弁のボンネット？プラグをすべきか, 否か？	澁谷 徹, 長安 敏夫
	6	私はなぜあのバルブを開けられないのか？	加治 久継, 牛山 啓
	7	Piper Alpha を忘れるな	小林 浩之, 斎藤 興司
	8	水ポンプでも爆発するか？	中村喜久男, 山岡 龍介
	9	空気の力！	井内 謙輔, 渡邊 紘一
	10	危険場所での電気機器	山崎 博, 長安 敏夫
	11	休日の操業	澁谷 徹, 加治久継
	12	強酸化剤の危険	小林浩之, 牛山 啓
2014	1	保温材下腐食（CUI）	井内 謙輔, 平木 一郎
	2	我々は過去の事故を繰り返しているか？	竹内亮, 中村喜久男
	3	労働安全を忘れるな！	加治 久継, 長安 敏夫
	4	プロセス安全力をどうやって測定するか？	澁谷 徹, 斎藤 興司
	5	大量漏洩と環境汚染事故	小林 浩之, 渡邊 紘一
	6	安全手段がまずいことに！	牛山 啓, 山岡 龍介
	7	粘り抜くのは一良いか悪いか？	平木 一郎, 山崎 博
	8	着火源	中村喜久男, 長安 敏夫
	9	ハザード特定とリスク分析におけるあなたの役割は？	井内 謙輔, 斎藤 興司
	10	粉じん爆発—この危険を一掃しよう！	竹内 亮, 澁谷 徹
	11	30年前—LPGの惨事	加治 久継, 山岡 龍介
	12	ボパール-産業界における史上最悪の大惨事	牛山 啓, 渡邊 紘一
2015	1	何がプロセスリスクか？	小林 浩之, 平木 一郎
	2	この人たちはどういう人？	長安 敏夫, 中村喜久男
	3	プロセス安全では細かなことも大切！	竹内 亮, 三平 忠宏
	4	安全作業実施要領	山崎 博, 牛山 啓
	5	機械的健全性	斎藤 興司, 渡邊 紘一

	6	運転の仕方(決められた通りに)	澁谷 徹, 山岡 龍介
	7	退避すべき時を知ること	竹内 亮, 井内 謙輔
	8	運転準備完了	長安 敏夫, 三平忠宏
	9	危険物の荷おろしと荷積み	加治 久継, 中村喜久男
	10	水, 水はどこにでもあるが・・・	牛山 啓, 斎藤 興司
	11	間違ったホースがアンモニア漏れの原因!	澁谷 徹, 渡邊 紘一
	12	ちょっと止まり, よく見て, よく聞こう!	小林 浩之, 竹内 亮
2016	1	水和物の危険	長安 敏夫, 井内 謙輔
	2	いまだにタンクからのオーバーフローが!	加治 久継, 山岡 龍介
	3	安全装置それとも制御機器?	中村喜久男, 三平 忠宏
	4	詰まったフレームアレスターは爆発を引き起こす?	澁谷徹, 斎藤 興司
	5	事故は何度も繰り返す!	牛山 啓, 渡邊 紘一
	6	家庭での危険な化学反応!	山岡 龍介, 竹内 亮
	7	化学的適合性を理解すること	山本 一己, 井内 謙輔
	8	わずかな静電気が大火災を引き起こす!	松井 悦郎, 長安 敏夫
	9	変更を認識できますか?	牛山 啓, 中村喜久男
	10	実験室でのプロセス安全	澤 寛, 三平 忠宏
	11	Process Safety Beacon の15年	斎藤 興司, 渡邊 紘一
	12	着火源-もう一度	松井 悦郎, 澁谷 徹
2017	1	高濃度酸素の危険性	山本 一己, 山岡 龍介
	2	貯蔵タンク内の混合禁忌物質	井内 謙輔, 竹内 亮
	3	・・・温度は引火点以下だったのに!	中村喜久男, 斎藤 興司
	4	その容器は本当に空ですか?	長安 敏夫, 三平 忠宏
	5	腐食したタンク!	渡邊 紘一, 飯濱 慶
	6	スチーム配管破損の事故調査	牛山 啓, 澤 寛
	7	変更管理	松井 悦郎, 井内 謙輔
	8	無防備な配管	中村喜久男, 山本 一己
	9	急いては事を仕損じる!	竹内 亮, 長安 敏夫
	10	警報類は警告となっているか?	澁谷 徹, 三平 忠宏
	11	危険区域内のパージされている設備	斎藤 興司, 澤 寛
	12	液化ガス	松井 悦郎, 渡邊 紘一
2018	1	あなたのプラントは自然災害を受けないか?	飯濱 慶, 山岡 龍介
	2	不純物起因の暴走反応	井内 謙輔, 牛山 啓
	3	ニアミスの報告と調査	中村喜久男, 竹内 亮

	4	安全上の弱点へのセンスを維持しよう	山本 一己, 長安 敏夫
	5	プロセス設備とインフラの老朽化	三平 忠宏, 澁谷 徹
	6	作業許可証ー作業の範囲を理解する	牛山 啓, 斎藤 興司
	7	反応器の冷やし過ぎは暴走反応の原因となるか？	井内 謙輔, 松井 悦郎
	8	もし, 攪拌機が止まったら？	竹内 亮, 澤 寛
	9	プロセスの挙動がいつもと違ったら？	飯濱 慶, 山岡 龍介
	10	エネルギーの危険性！	金原 聖, 山本 一己
	11	小さな変更の積み重ねが爆発につながる	澁谷 徹, 斎藤 興司
	12	共通原因による故障	澤 寛, 三平 忠宏
2019	1	プロセス安全の経験談	竹内 亮
	2	重要な安全防护はその機能を維持すること！	今出 善久, 牛山 啓
	3	ボールバルブの故障に気付かなかった為に	金原 聖, 澤 寛
	4	計器の”異常な”指示値が実は正しかったら？	澁谷 徹, 飯濱 慶
	5	警告表示が多過ぎないか？	三平 忠宏, 斎藤 興司
	6	保温材下腐食(CUI)	山本 一己, 山岡 龍介
	7	小さな漏れが壊滅的な破損に繋がる	松井 悦郎, 飯濱 慶
	8	潜んでいるハザード	春山 豊, 竹内 亮

付録5-8 「化学装置」投稿実績

記事・表題	著者	投稿月
エネルギー効率の高い社会を目指して	松村 眞	2011年7月
なにを、なんのためにリサイクルするのか	松村 眞	2011年8月
電力貯蔵のニーズと技術	松村 眞	2012年10月
ごみ焼却発電の市場性とビジネスシナリオ	松村 眞	2014年4月
安全確保・実現のためのFTA利用術	竹内 亮	2014年12月
ごみ発電が収益を生む時がきた。清掃工場はごみ発電をもっと増やして売れ	松村 眞	2015年3月
バイナリー発電の適用性	松村 眞	2015年10月
リアルクリーンパワーの礎石	原 晋一	2016年4、5月
モルドバ共和国におけるバイオマスプロジェクト	伝田六郎	2016年10、11月
究極の重質油分解装置	原 晋一	2017年4、5月
巻頭言	澁谷 徹	2017年4月
巻頭言	竹内 亮	2018年3月
環境とエネルギー分野の体系化	松村 眞	2018年4月
シニアエンジニアの生き方・生かし方	松村 眞	2018年6月
巻頭言	山本 一己	2018年11月
プラスチック容器包装のリサイクルは物質ではなく電力に	松村 眞	2019年4月
バイオマス発電排ガス中の二酸化炭素の分離回収・貯留	松宮 紀文、 原 晋一	2019年8月

付録5-9 Tech Note 投稿実績

記事・表題	著者	投稿月
(4)工場における工事の安全対策	竹内 亮	2018年3月
(3)手と指先の安全対策	竹内 亮	2018年3月
(2)反復的負荷障害とエルゴノミクス	竹内 亮	2018年3月
(1)化学プラントの安全管理とは？OSHAのPSMとは？	竹内 亮	2018年2月
腐食の解析と腐食事例のデータベース：腐食の基礎知識6	梅村 文夫	2017年12月
防食設計とは？防食管理とは？：腐食の基礎知識5	鈴木 紹夫	2017年12月
鉄鋼材料の防食：腐食の基礎知識4	梅村 文夫	2017年12月
腐食の基礎知識3-環境の腐食性と耐食材料	鈴木 紹夫	2017年11月
腐食の基礎知識2-アルミニウム、ステンレス鋼、銅の腐食	梅村 文夫	2017年11月
腐食の基礎知識1-腐食とは	鈴木 紹夫	2017年10月
プラスチックのリサイクル：廃棄物リサイクルの基礎知識5	郷 茂夫	2017年03月
循環型社会形成のための市民・企業・行政の取り組み：廃棄物リサイクルの基礎知識4	郷 茂夫	2017年03月
廃棄物処理の注意点：廃棄物リサイクルの基礎知識3	中安 一雄	2017年02月
廃棄物処理法とは？：廃棄物リサイクルの基礎知識2	中安 一雄	2017年02月
廃棄物の発生とリサイクルの現状：廃棄物リサイクルの基礎知識1	郷 茂夫	2017年1月
有害物質の処理技術：水質汚染対策の基礎知識8	郷 茂夫	2017年1月
生物処理法の種類：水質汚染対策の基礎知識7	郷 茂夫	2017年1月
污水处理技術の種類：水質汚染対策の基礎知識6	郷 茂夫	2017年1月
排水処理プロセスの選び方：水質汚染対策の基礎知識5	郷 茂夫	2016年12月
水質汚濁防止法とは？：水質汚染対策の基礎知識4	郷 茂夫	2016年12月
有害物質の種類と健康への影響：水質汚染対策の基礎知識3	郷 茂夫	2016年11月
水質汚濁指標と汚濁メカニズム：水質汚染対策の基礎知識2	郷 茂夫	2016年10月
水質汚濁物質の発生源と排水ルート：水質汚染対策の基礎知識1	郷 茂夫	2016年10月
地球気候変動への対応：大気汚染対策の基礎知識5	原 晋一	2016年9月
SPM・PM2.5・石綿の特徴や対応法：大気汚染対策の基礎知識4	原 晋一	2016年9月
SOx・NOx・VOCの特徴や対応法：大気汚染対策の基礎知識3	原 晋一	2016年9月
環境汚染対策のための技術：大気汚染対策の基礎知識2	原 晋一	2016年9月
大気環境問題の歴史と法律：大気汚染対策の基礎知識1	原 晋一	2016年8月
公害防止管理者法と環境アセスメント制度：環境と公害の基礎知識2	郷 茂夫	2016年7月
公害の歴史と環境基本法：環境と公害の基礎知識1	郷 茂夫	2016年7月
トップが率先！業務機密の開示&監査：プロセス安全管理の基礎知識	竹内 亮	2016年6月

事故が発生したら、どうする？緊急時対応計画&事故調査：プロセス安全管理の基礎知識4	竹内 亮	2016年6月
変更は隙を生む！「変更管理」の考え方：プロセス安全管理の基礎知識3	竹内 亮	2016年6月
協力会社への安全徹底&大事故を防ぐ火気使用許可：プロセス安全管理の基礎知識2	竹内 亮	2016年5月
化学プラントの安全管理とは？OSHAのPSMとは？：プロセス安全管理の基礎知識1	竹内 亮	2016年4月
化学工業の歴史4～石油化学への展開と高分子化合物の発明～：化学工業の基礎知識5	山崎 徹	2016年4月
化学工業の歴史3～化学産業の自立と高度成長の時代～：化学工業の基礎知識4	山崎 徹	2016年4月
化学工業の歴史1～無機・有機化学工業の基盤成立～：化学工業の基礎知識2	山崎 徹	2016年1月
化学工業の特徴と役割～産業を支える縁の下の力持ち～：化学工業の基礎知識1	山崎 徹	2015年12月

付録 5-10 SCE・Net の窓投稿記録

年	月日	投稿者	表題
2005	12 月	松村眞	上海のオールドジャズバンド
2006	3 月	弓削耕	野球はベースボールに勝ったか
	4 月	道木英之	研究森林資源の重要性
	6 月	松村眞	人が働く七つの理由
	6 月	弓削耕	サッカーと愛国心
	7 月	松村眞	排水設備の補修工事
	8 月	松村眞	ガンジーの箴言
	8 月	谷本禎生	北京、鄭州、ぼくよう市、上海訪問
	9 月	松村眞	研究組織形態と組織活動の適合性
	10 月	弓削耕	青いハンカチ
	10 月	弓削耕	第 3 回 国際水素燃料電池展見学寸感
2007	3 月	弓削耕	森が崎水再生センター見学記
	6 月	松村眞	体内配管のメンテナンス
	9 月	弓削耕	東京電力福島第一原子力発電所見学印象記
	9 月	松村眞	研究ごみ焼却発電の拡大と発電効率の向上
	10 月	持田典秋	ウォーキングの効用
	10 月	持田典秋	ウオーキングの効用
2008	2 月	松村眞	研究 プラントエンジニアリング産業の技術伝承（その 2）
	2 月	松村眞	研究 プラントエンジニアリング産業の技術伝承（その 1）
	2 月	山本彊	K/H（ノーハウ）の強さ
	3 月	弓削耕	GNF 見学記
	5 月	松村眞	シルバーパスの費用負担
	9 月	弓削耕	オリンピックの品格
	11 月	弓削耕	横浜市環境資源循環施設見学記
2009	3 月	弓削耕	日本工業大学を訪れて
	3 月	弓削耕	相撲とベースボール
	6 月	持田典秋	花ズッキーニ
	6 月	持田典秋	ヘボン式ローマ字
	7 月	弓削耕	下北観光旅行記
	7 月	弓削耕	六ヶ所村原子力サイクル施設見聞記
	10 月	弓削耕	東京 PCB 廃棄物処理施設見学記
	10 月	持田典秋	猫の利き腕

2010	4月	弓削耕	國長金属（株）見学記
	5月	小林浩之	日本航空安全啓発センター
	8月	松村眞	少し作って、ながーく使って
	8月	松村眞	ハイテク回転寿司
	8月	松村眞	アウトプットとアウトカム
	8月	弓削耕	ヨウ素工場見学記
2011	1月	山岸千丈	原子力発電について思う
	1月	松村眞	プリンターインクカートリッジ
	2月	弓削耕	サッカーと野球と
	3月	牛山敬	歌う楽しみ
	4月	澁谷徹	キッカケ
	5月	梅村文夫	甘くなかったハーフマラソン（21.1km）
	7月	郷茂夫	日本のものづくり－部材が創る
	7月	松村眞	エネルギー効率の高い社会を目指して（その2）
	7月	松村眞	エネルギー効率の高い社会を目指して（その1）
	7月	持田典秋	化学的ジャム作り
	9月	松村眞	研究 なにを、なんのためにリサイクルするのか（その1）
	9月	松村眞	研究 なにを、なんのためにリサイクルするのか（その2）
	10月	堀中新一	沙漠ツアーとGPS、衛星携帯、SUV
	10月	鈴木紹夫	渤海国我が故郷
	11月	持田典秋	ラングドシャ（langue de chat）
	12月	松村眞	研究 なにを、なんのためにリサイクルするのか（その3）
	12月	道木英之	研究 生物多様性と地球温暖化
2012	1月	小林浩之	‘11.3.11 福島原発事故に思う
	1月	中村喜久男	太極拳-健康管理そして更に
	3月	松村 眞	賞味期限と消費期限
	4月	松村眞	研究環境対策の階層構成とベストミックス（その1）
	4月	松村眞	研究 環境対策の階層構成とベストミックス（その2）
	5月	道木英之	千葉大学園芸部見学記
	6月	持田典秋	トイレさまざま
	6月	小林浩之	14の瞳
	7月	松村 眞	足尾を去る人残る人
	8月	小林浩之	東北の被災地を訪ねる
	8月	神田稔久	サハリンの塀の中の話
	8月	弓削耕	4年に一度の楽しみ

	8月	澁谷徹	闘病記 澁谷徹
	8月	山崎徹	地域のミニコミ誌編集長奮戦記
	9月	田中貴雄	ガスタービン工場見学記
	9月	長安敏夫	価値ある環境マネジメントを求めて
	10月	持田典秋	カレー
	10月	佐久間精一	計算尺と計算図表
	10月	梅村文夫	北門中学校と知里幸恵
2013	1月	郷茂夫	研究衝撃波による炭素固定と循環－1
	2月	山岸千丈	くらりか
	4月	小林浩之	F.Hさんの訃報
	4月	持田典秋	蚊が喰う工学
	4月	松村眞	劇映画『渡されたバトン』を観て
	5月	弓削耕	千葉大学（フロンティアメディカル工学研究開発センター）見学
	5月	弓削耕	二つの星の思い出
	5月	堀中新一	野生ゴムと栽培ゴム
	6月	松村眞	ランドセルの将来
	7月	松村眞	ゴミ焼却発電の拡大と発電効率の向上（その1）
	7月	松村眞	ゴミ焼却発電の拡大と発電効率の向上（その2）
	7月	梅村文夫	材料屋のロマン『たたたと日本刀』
	7月	小林浩之	安全と使命
	8月	持田典秋	ある留学生の足跡
	8月	神田稔久	ベンツよりも国産車
	9月	持田典秋	猫の生命
	9月	松村眞	最後の待ち時間
	9月	山崎徹	化学産業の過去、現在、未来
	9月	澁谷徹	世界の最先端スパコン”京”についての講演を聞いて
	9月	松村眞	理系と文系の分かれ道
	9月	鈴木文行	油田の水のお話鈴木文行
	10月	松村眞	北京市クリーン空気行動計画を読む（その1）
	10月	松村眞	北京市クリーン空気行動計画を読む（その2）
	10月	松村眞	リタイアシニアの再教育
	10月	長安敏夫	SCE・Netのさらなる活性化の一案
	10月	牛山啓	私の受けた小学生教育
	10月	中尾眞	特許と付き合ってみて
	11月	松村眞	後期高齢者の感慨

2014	1 月	松村眞	欧米のビジネスマンに勝てなかった四つのスキル
	2 月	松井達郎	アベノミクスと化学工学
	3 月	弓削耕	すべて転んで
	3 月	松村眞	ごみ焼却発電の市場性とビジネスシナリオ（その 1）
	3 月	松村眞	ごみ焼却発電の市場性とビジネスシナリオ（その 2）
	4 月	松村眞	ごみ焼却発電の市場性とビジネスシナリオ（その 3）
	4 月	松村眞	ごみ焼却発電の市場性とビジネスシナリオ（その 4）
	4 月	堀中新一	ヤノマミの村の大統領選挙は電子投票だった
	5 月	松村眞	捨てない理由と捨てる理由
	5 月	弓削耕	日本の再生可能エネルギー動向の一考察（その 1）
	5 月	弓削耕	日本の再生可能エネルギー動向の一考察（その 2）
	5 月	弓削耕	最近のメガソーラーの動向(2013)
	6 月	澁谷徹	税率アップに伴う J R 運賃の怪
	7 月	持田典秋	化学工学でワインを美味しく
	7 月	弓削耕	跳んだり蹴ったり
	7 月	持田典秋	ささやかな挑戦
	7 月	神田稔久	英国人のお茶への情熱
	7 月	木原重光	太陽光発電の実体験
	8 月	持田典秋	旅のガッカリ
	8 月	中尾眞	故きを温ねて
	10 月	梅村文夫	緑青は毒？
	11 月	持田典秋	グリッシーニ
	12 月	横堀仁	皇居乾通りの一般公開
	12 月	松村眞	化学プラントの省エネルギー対策の展望（その 1）
	12 月	松村眞	化学プラントの省エネルギー対策の展望（その 2）
	12 月	松村眞	化学プラントの省エネルギー対策の展望（その 3）
	12 月	松村眞	化学プラントの省エネルギー対策の展望（その 4）
	12 月	横山哲夫	イカが空を飛んだ
2015	1 月	小林浩之	測られた死
	3 月	横山哲夫	ウィルスが私を造った
	3 月	松村眞	ゴミ焼却発電が利益を生む
	5 月	小林浩之	T さんのこと
	5 月	三平忠宏	空襲
	6 月	河合治之	世界史と化学
	7 月	小松昭英	パソコン事始め

	8月	小林浩之	再び福島第一発電所を訪ねる
	8月	松村眞	私の車歴 53 年
	8月	持田典秋	ウォーキング 10 年
	8月	横山哲夫	我が心の『ガンザク 28 号』
	10月	松村眞	バイナリー発電の適用性 (その 1)
	10月	松村眞	バイナリー発電の適用性 (その 2)
	10月	横山哲夫	クモの糸は切なかった
	12月	竹内亮	お金と幸福
	12月	西村二郎	宍道湖の水質浄化のミステリー
2016	1月	梅村文夫	鉄の歴史とロマンを歩く
	1月	松井達郎	常磐共同火力(株)勿来発電所 IGCC プラントを見学して
	3月	原戸卓雄	世直しおじさん待望論原戸卓雄
	6月	竹内亮	作 創作_童話タムタムの不思議な壺
	6月	小林浩之	御巣鷹山に登る-日本航空ジャンボ機墜落 12318th/12319 の軌跡
	7月	持田典秋	こだわりのあんドーナツ
	7月	澤寛	作 創作鳳凰とライオンとトラの像澤寛
	8月	宮本公明	留学のすすめ
	9月	中尾眞	草創期のケミカルエンジニア
	9月	神田稔久	お稲荷さんの話
	9月	梅村文夫	赤ちゃん誕生とペーパードライバー
	9月	三平忠宏	作 創作近詠短歌 四十八首
	10月	松田臣平	エネルギー環境問題の本質を考える視点
	11月	神田稔久	曾祖父の日清日露戦争
	11月	西村二郎	宍道湖の水質浄化のミステリー(2) ーアオコなしの湖へとレジームシフトした宍道湖
	11月	河合治之	くも膜下出血体験記
2017	3月	横山哲夫	A=440Hz
	2月	小林浩之	事故は防げなかったか 日本航空ジャンボ機墜落-12318th/12319s の軌跡
	1月	横山哲夫	解体新書 鳩時計
	4月	佐藤晋	エンジニアリングの真髄
	5月	佐藤晋	エンジニアリングの真髄(その 2)
	6月	小林浩之	箱根駅伝 花の 2 区
	6月	松村眞	日本の長所：起源と伝承方法 (その 1) 日本の長所
	6月	松村眞	日本の長所：起源と伝承方法 (その 2) 長所の起源

	6 月	横山哲夫	日本髪と三味線
	7 月	弓削耕	日本のエネルギー状況の一つの考察（2016 年の推測）
	11 月	横山哲夫	まごの手
2018	1 月	持田典秋	糖質との付き合い
	1 月	松村眞	日本の長所：起源と伝承方法（その 3）継承方法と持続性
	2 月	持田典秋	別れ
	6 月	松村眞	シニアエンジニアの生き方生かし方
	7 月	小松昭英	偶然の連鎖
	7 月	松村眞	環境エネルギー分野の体系化（SCE）（その 1）
	7 月	松村眞	環境エネルギー分野の体系化（SCE）（その 2）
	7 月	松村眞	環境エネルギー分野の体系化（SCE）（その 3）
	8 月	飯塚弘	我が家のソーラー発電
2019	1 月	松井達郎	JAMSTEC 見学会、講演会
	2 月	鶴田邦弘	家庭用エアコンの省エネ性能と冷媒の経年変化の調査
	2 月	鶴田邦弘	家庭用エアコンの省エネ技術の経年変化の調査
	2 月	小林浩之	二度目の JAL グループ安全啓発センター
	5 月	松村眞	プラスチック容器包装のリサイクルは物質ではなく電力で(その 1) プラスチックリサイクルの現状
	5 月	松村眞	プラスチック容器包装のリサイクルは物質ではなく電力で(その 2) プラスチックリサイクルの負担と有効利用率
	5 月	小松昭英	言葉の壁の崩壊
	5 月	小松昭英	システムズエンジニアリング雑感
	5 月	山田知純	エクセルによる化工物性推算
	6 月	小松昭英	言葉の壁が崩壊しても
	6 月	西村二郎	炭素循環余話:空気がなくなる日
	7 月	小松昭英	システム構築による課題解決
	7 月	西村二郎	風が吹けば桶屋が儲かる！
	8 月	小松昭英	偶然の連鎖と時代背景
	9 月	小松昭英	語彙の壁
	10 月	小松昭英	人工知能の壁

あとがき

SCE・Net は 100 人強の小さい集団であり、会員は夫々自分の興味や信条に従って生きている。SCE・Net の活動は小さな川の流れに例えられる。会員夫々が違った流れを操る船の船頭でもある。10 年の歩みを纏める編集者の立場はこの流れの傍に立ち、流れに浮かぶ“泡沫”を観察記録するようなものである。

1 年前の夏に、川瀬代表から、“2020 年には 20 周年記念誌を発行したいが協力して欲しい”と頼まれた時、気易く“はい”と返事したことで私の苦労は始まった。澁谷様、持田様の協力を得ながら、1 月から作業を進めた。目次を作成することから始め、7 月には 1 次原稿が集まった。しかしそれからが大変であった。書式を統一し写真を集めることまでは簡単であったが、詳しい活動記録や投稿記事を探し出す作業は多くの時間を要した。最も大変だったのは、全体としての流れを揃えることであった。つまり、自分たちが何を目指して活動してきたか、その結果どのような方向に動いたのか、筆者夫々の“思い”で書かれているものをある程度同じ方向性を持たせる様にするにはかなり苦労した。せっかく書いて戴いた文章を削ったり、表現の修正をお願いしたこともあったが、皆さんには快く応じて戴いた。この場を借りて、筆者の皆様には御礼を申し上げたい。

20 年前に始まった SCE・Net という川の流れは、周囲の地形に応じて数年ごとに変え今日に至っている。次の 10 年には、違った地形が現れるだろうが、皆さんの才覚で乗り切ることができるかと信じている。

令和元年 12 月

中尾 眞（編集者を代表して）

SCE・Net 設立 20 周年記念誌

—バトンを繋いだ 10 年の歩み—

発行 令和元年 12 月 15 日

公益社団法人 化学工学会 産学官連携センター SCE・Net

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-6-19 共立会館 5F

TEL : 03-3943-3527
